



## 多摩市で

多摩市では革新都政をつくる多摩の会が都の会の宇都宮さん推薦を受けてただちに活動を再開し、市民連合も13日に幹事会を行って運動を開始しました。

市民連合は、多くの市民団体が中心となって構成され、そこに立憲民主党、日本共産党、社民党などの政党も加わっています。革新都政をつくる多摩の会もこの市民連合に入っています。社民党市議が統一選対との窓口を引き受けています。

革新都政の会は、臨時電話を3本確保し、南多

摩教育会館にセンターをおいて活動しています。

21日は、聖蹟桜ヶ丘駅頭と多摩センター駅頭で宣伝行動を行いました。広場を埋めるような宣伝行動になりました。ビラの受け取りはまだまだですが、市民に徐々に反応が出てきているように感じます。

23日聖蹟桜ヶ丘、25日多摩センター、27日永山、30日聖蹟桜ヶ丘 7月2日永山で宣伝を予定しています。

## うつけん・府中勝手連は

21日、「うつけん・府中勝手連」は27名が参加し、府中駅けやき並木口、ル・シーニュー前、バスターミナルの三ヶ所で宣伝行動をしました。

「都政のすべてを、都民のために」の法定ビラを配り、メガホンで立憲、共産の市議や市民が『4年に一度の都知事選が始まりました。人権派弁護

士の宇都宮けんじ、宇都宮候けんじ候補へのご支持をよろしく。1400万都民の暮らし、福祉、教育、コロナ過対策が問われる大切な選挙。知事には宇都宮、宇都宮けんじ候補よろしく』と訴えました。



## 小平・19区で

小平革新懇は、11日の世話人会で「市民と野党の共闘で、宇都宮けんじさんを、必ず東京都知事に押しあげ、小池都政の転換を実現しましょう！」というアピールを出しました。小平平和共同センターFAXニュースによれば小平では、革新懇、9条の会、市民連合、後援会、地区労などによって12日以降連日の宣伝行動が取り組まれ、投票日前日まで宣伝行動の日程が組まれています。

「チラシ、下さい！」と通勤帰りの若い方が寄って

きたり、若い女性から「私、選挙に行ったことがないのですが、家の旦那が宇都宮さん…なのですが、どんな方ですか」

「今度は選挙にいきます！…応援するにはどうすればいいのですか？」と声をかけられたりという経験が生まれています。

小平市民連合が呼びかけて13日に話し合いがもたれ、立憲民主党、日本共産党、社民党、緑の党、無所属の市議会議員が共同して、宇都宮けんじさんを推して取り組んでいくことを確認しました。

宣伝やビラ配布の割り振りなどを決め、取り組みをすすめています。小平の会は、19区の協議会にも参加しています。

19区の協議会は、末松議員の事務所に事務所を置き、宣伝行動などに取り組んでいます。

20日には国分寺で宣伝行動を行いました。23日には田無、ひばりヶ丘、夜は花小金井で宣伝を行う予定です。

